

MR検査を受ける際の注意事項

- ◆ MR検査は強力な磁場環境に入ってください、高周波(ラジオ波)を照射して検査を行います。
- ◆ 検査は寝台に寝ていただきトンネルのような筒状の装置の中に入ります。また検査中に様々な種類の大きな音がなります。閉所恐怖症やパニック障害のある方は検査できない場合もあります。
- ◆ MR検査は仰臥位(仰向け)で静止した状態で20~30分程度かかります。検査中に体動があると画像が乱れ診断ができない場合があります。

【 注 意 事 項 】

- 心臓ペースメーカー・人工内耳・神経刺激装置・磁石装着性義眼を装着している方のMRI検査はできません。
- 脳動脈クリップ・金属ステント・金属コイル・インプラント(整形外科・歯科)など体内に金属がある方は申し出てください。体内金属の品名・材質によっては検査ができない場合もあります。
- 刺青・アートメイク・金属入りのネイルアートをされている方は、高周波(ラジオ波)により火傷や変色の可能性がありますので事前にお申し出下さい。
- MRIの強磁場や高周波(ラジオ波)が胎児に与える影響については未解明な部分があり、特に妊娠初期(第1三半期)の安全性は確立されていません。
- カラーコンタクトレンズは成分に酸化鉄が含まれています。高周波(ラジオ波)により火傷をする可能性がありますので、着用したままで検査を行うことはできません。(保管容器の準備が必要です。)
- ウィッグ・カツラは金属で着脱するものがあります。強磁場に引き寄せられ吸着する恐れがあり、アーチファクトの原因となります。場合によってははずしていただきます。
- 携帯電話・腕時計・鍵・眼鏡・イヤリング・ピアス・ヘアピン・財布などは検査室に持ち込めません。使い捨てカイロ・湿布・エレキバン・サポーターなどもあらかじめ外していただきます。
- 歯列矯正を装着されている方は磁場の影響により矯正が変形する可能性や画像が乱れ診断できない場合があります。矯正の素材にもよりますので事前に歯科主治医の先生に受診可能かご相談下さい。

